

◆ 代表挨拶 ◆  
年頭所感

◆ 相談員の窓 ◆  
パラダイムシフト

◆ お知らせ ◆

【ノロウイルスにご注意を】

【研修日程を変更しました】

【平成26年度産業保健研修会についてご意見募集】

【第10回労働安全衛生セミナー(大分労働衛生管理センター)】

【発達障がい講演会(大分県こころとからだの相談支援センター)】

【産業医学調査研究助成事業(公益財団法人 産業医学振興財団)】

◆ 研修・セミナーのご案内( 1月・2月 )◆

◆ 関係機関の動き

◆◇+.....+◇◆  
年頭所感

大分産業保健推進連絡事務所 代表 嶋津 義久

皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年には1949年生まれの方が65歳を迎えます。日本の高度成長を支え、消費の中心でもあった1947～1949年生まれの団塊世代約665万人全てが、前期高齢者に入るわけです。国民年金がスタートする1年前、1960年の平均寿命は男性65歳、女性70歳でしたが、2010年には男性80歳、女性86歳に延びました。しかし、自立して生活ができる健康寿命は、2010年男性70歳、女性74歳でしたので、平均寿命までの「男性10年間」、「女性12年間」は、なんらかの介護が必要という状況です。元気な高齢者であるには、若い時からの「健康に対する知識」と「生活習慣」、ならびに適切な「健康診断と事後措置」が重要なことは皆様ご存じのとおりです。

現代の職場環境は、業務の多様化・専門化、派遣労働者の増加、高年齢労働者の増加など、常に変化しており、精神障害等による労災認定件数増加、介護・医療施設等での腰痛の増加、胆管がんの事例の様な規制対象となっていない化学物質等についてのリスク管理ほか、産業保健関係者の職務の重要性は、ますます増しています。

当連絡事務所は、基幹相談員・特別相談員・外部講師の先生方、関係機関のご協力をいただきながら、産業保健関係者の皆様のお手伝いが、より有効にできる体制整備を、今後とも続

けてまいります。本年も引き続きご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

◆◇+.....+◇◆

◆ 相談員の窓 ◆  
パラダイムシフト

基幹相談員 青野裕士

(大分大学医学部 公衆衛生・疫学講座 准教授)

高度経済成長やバブルの時代を経て、日本の食生活は豊かになったけれども、食をめぐる環境の激変に戸惑い、不安になるばかりと言うのが現状だろう。海外からの食糧輸入は増大し、外食産業は巨大化が進んでいる。動物性脂肪過多の脂質の取り過ぎという青少年期の食習慣は、壮年期の生活習慣病を導いており、孤食、小食、子食、朝食の欠食は、子どもの栄養バランスをくずすことになる。

国は「食育基本法」を平成17年に制定し、国民の食生活の改善に取り組む指針10項目を示している。多くは、諸外国の指針と近似しているが、2つの点で、異なった特徴がある。

一つは「調理や保存を工夫してムダ、廃棄を少なく」という項目。全地球的な食糧問題、環境問題への配慮である。もう一つは「地域の産物を生かす」という項目。いわゆる「地産地消」の奨励である。地域で生産される農産物や海産物を、その地域の食文化に沿って食べれば、供給のための移動距離は短くなって、食材は新鮮である。また、地元産だから安心でもある。食糧自給率の向上と将来にわたる安全供給も図れる。

事業現場で心身ともに意気軒昂で、その能力を十分に発揮できることがひとりひとりの労働者に求められる。これらを保証するのは、適度な運動、適切な食生活、十分な睡眠と休養、ストレスのコントロールにかかっていることが、これまでの産業保健活動で明らかにされている。事業現場では、「事業場における労働者の健康の保持増進のための指針」(改定 平成 19 年 11 月 30 日 公示第 4 号)に基づき、トータル・ヘルスプロモーション(THP)が連綿と展開されている。運動指導・実践担当者・心理相談担当者、産業栄養指導担当者を自前で養成する事業現場もあるが、中には、給食施設などの管理栄養士と事業所が提携して、「食」からの保健指導をすすめ、「自分の健康は自分で守ろう」とする労働者の意識向上がすすんでいるところでもある。がん疫学者の Doll らは、食生活改善と禁煙で、全てのがんの6割近くは予防できることを、1980年頃までのがんに関する論文のレビューを根拠(約10年間)に明らかにしている。家族団らんであれ、同僚・上司との交流の場であれ、「食」を通して語らうことは、気持ちがなごんでくる。ましてや、好物にでも当たれば、生きていて良かったと思うかも知れない。ものは考えようで、箱物ではない快適職場づくりにもつながっている。「食」をベースに、「農林漁業の6次産業化」も提唱されている。1次×2次×3次=6次と説明される。1次産業(農林漁業)の従業者が2次産業(製造・加工)や3次産業(卸・小売・観光)に取り組み新しい価値創造や農漁村の活性化につなげると言う発想のようである(提唱者今村奈良臣氏 東大名誉教授 大分県出身者)。

◆◇+.....+◇◆

◆お知らせ◆

【ノロウイルスにご注意を】

ノロウイルス等による感染性胃腸炎が特に流行しています。感染や食中毒を防ぐための対策をお願いします。詳しくは厚労省HPにて→

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

**【研修日程を変更しました】**

**第24回産業医研修会**

テーマ:「職場における健康診断の考え方【生涯専門2単位】」

高齢社会を迎えた高齢労働者の健康診断の考え方と事後指導について

講師:大分県地域成人病検診センター所長 明石光伸先生

《変更前》日時:26年1月23(木)18:30~20:30

《変更後》日時:26年2月20(木)18:30~20:30

会場:大分県医師会館

**第22回衛生管理者・安全衛生担当者・事業主等研修(看護職含む)**

テーマ:「特定化学物質による健康障害の予防と対策」【産業看護職認定1単位】

化学物質による発がん毒性、神経毒性及び予防と対策について

講師:大分大学名誉教授 三角順一先生

《変更前》日時:平成25年12月4日(水)14:00~16:00

会場:コンパルホール304

《変更後》日時:平成26年2月12日(水)14:00~16:00

会場:アートプラザ研修室

受講のお申込された方には、研修1週間前に“研修のご案内”をお送りしております。  
場所と時間のご確認をお願いします。

**【平成26年度産業保健研修会についてご意見募集】**

当連絡事務所では、平成26年度産業保健研修計画を作成中です。メールマガジン愛読者の皆様からの、ご意見・ご要望をお待ちしております。

大分産業保健推進連絡事務所⇒ メール [info@oita-sanpo.jp](mailto:info@oita-sanpo.jp)

電話(097)573-8070 FAX(097)573-8074

**【第10回労働安全衛生セミナー(大分労働衛生管理センター)】**

「企業を過労死や訴訟のリスクから守り、働く人を元気にするメンタルヘルス対策」

(平成26年2月6日13:30~、ホルトホール大分)

詳しい内容および申込はこちら

→ <http://www.oita-sanpo.jp/New/info/sakujiyo/roudousemina-.pdf>

**【発達障がい講演会(大分県こころとからだの相談支援センター)】**

(平成26年1月19日10時~、コンパルホール、※参加締切1月10日)

発達障がいの方は、その特性から、様々な困難を抱えているにもかかわらず、大人になってはじめて障がいに気づかれる場合があります。

詳しい内容および申込は

→ <http://www.oita-sanpo.jp/New/info/sakujiyo/syougaisya.pdf>

**【産業医学調査研究助成事業(公益財団法人 産業医学振興財団)】**

一般研究150万円4件程度、特別研究500万円1件、締切26年2月末日

詳しくは → <http://www.zsisz.or.jp/investigation/98.html>









厚生労働省担当官と化学物質に係わる人々と意見交換を行いました。(厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課)

平成25年12月24日(火)「第80回労働政策審議会安全衛生分科会」

議題は今後の労働安全衛生対策、新規化学物質の有害性の調査結果等についてでした。(厚生労働省労働基準局安全衛生部計画課)

《その他》

【平成24年度石綿ばく露作業による労災認定等事業場】

厚生労働省は、平成25年12月10日に「平成24年度石綿ばく露作業による労災認定等事業場」を公表しました。これによると公表事業場数は1,049事業場で、うち新規は811事業場でした。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000031628.html>

【平成24年度石綿による疾病に関する労災保険給付などの請求・決定状況まとめ(確定値)】

厚生労働省は、平成25年12月10日に「平成24年度石綿による疾病に関する労災保険給付などの請求・決定状況まとめ(確定値)」を公表しました。これによると労災保険給付の請求・支給決定件数は前年度とほぼ同水準で推移したが、中皮腫の請求件数・支給決定件数が伸びたことにより特別遺族給付金の支給決定件数は大幅に増加したとしている。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000031636.html>

○首相官邸災害対策 <http://www.kantei.go.jp/saigai/>

○内閣府防災情報 <http://www.bousai.go.jp/>

○厚生労働省東日本大震災関連情報 [http://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/](http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/)

○原子力規制委員会 緊急時情報ホームページ <http://kinkyu.nsr.go.jp/>

○労働安全衛生総合研究所震災関連情報

<http://www.jniosh.go.jp/announce/shinsai/index.html>

○国立精神・神経医療研究センター

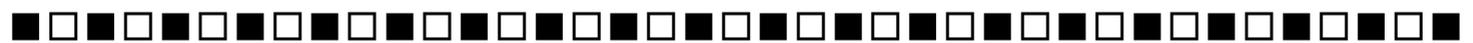
[http://www.ncnp.go.jp/mental\\_info/index.html](http://www.ncnp.go.jp/mental_info/index.html)

○こころの耳

<http://kokoro.mhlw.go.jp/>

◆◇+.....+◇◆

※メールアドレスの変更、配信停止、ご意見・ご感想は、[info@oita-sanpo.jp](mailto:info@oita-sanpo.jp) まで  
 お願い致しております。  
 皆様のご意見をお待ち致しております。  
 今月も最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。



独立行政法人 労働者健康福祉機構

大分産業保健推進連絡事務所

〒870-0046

大分市荷揚町3番1号 いちご・みらい信金ビル6階

TEL:097-573-8070 FAX:097-573-8074

<http://www.oita-sanpo.jp/> / E-mail: [info@oita-sanpo.jp](mailto:info@oita-sanpo.jp)

